

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年1月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年1月度ギャラクシー賞月間賞

Dearにつぼん「差別の壁」を越えて～京都・崇仁地区～

1月7日放送 8:25～8:50 日本放送協会

京都市立芸術大学が昨年キャンパスを移転した先は、長く部落差別を受けてきた崇仁地区。学生が「地域について学び、土地の歴史・文化と繋がって芸術を生み出すこと」を狙いとした大学の方針が素晴らしい。芸大生たちが皮革産業を生かした革製品をデザインしたり、お祭りに参加して地域の活性化にひと役買っていく偏見のない様子に、爽快な未来を感じた。

ザ！世界仰天ニュース4時間SP「森友学園問題… 赤木ファイル！ 命をかけた375日間」

1月9日放送 19:00～23:00 日本テレビ放送網

年明け早々の4時間スペシャルのバラエティ番組で、いまだ「昔の出来事」にはなっていない森友学園問題と公文書改ざん問題にここまで踏み込んだ内容を放送したことに、半ば驚きつつ称賛を贈りたい。力作再現ドラマで、報道番組や硬派なドキュメンタリーとは異なる視聴者層にも届くバラエティ番組の底力を見た思い。

情熱大陸「小島よしお」

1月21日放送 23:00～23:30 毎日放送

自分には笑いの才能はないという小島よしお。「一発屋」というレッテルもつきまとう。だが人一倍努力を重ね、いま子どもたちに圧倒的な支持を受ける。テレビに出るだけがすべてではないことを教えてくれるその姿は、時代の転換期にあって、お笑い芸人というものの新たな存在意義を示しているかのようで感動した。

秋山口ケの地図

2023年12月26日、2024年1月9日、16日、23日放送 テレビ東京

ロケの行き先を番組側が予め決めるのではなく、地元民の勧誘の書き込みを見てから決めるという仕掛けが効いている。飲食店だけでなく一般の家庭にも行くことで、その街の個性がより際立つ。そこにロバート秋山ならではのなりきり演技の面白さが加わり、地元民も巻き込んだパフォーマンスも楽しめるところが、既存の街ブラ番組とは一線を画している。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年4月号に掲載します